

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 金沢市立西小学校 (※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫※注 1

☐ 中学校 ☐ 中高一貫※注 2 ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他（例：小中高一貫）

※注 1 義務教育学校を含む ※注 2 中等教育学校を含む

所在地 〒920-0027

石川県金沢市駅西新町 3 丁目 15-1

E-mail nishi-e@kanazawa-sity.ed.jp

Website

幼児児童生徒数 男子 144 名 女子 194 名 合計 338 名

幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800 字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

① 1 年生 みんなとなかよしプロジェクト 「なかよし いっぱい 大作戦」

学校の校庭や地域にある公園を利用して、季節の植物や生き物などとかかわることで、自然の不思議やすばらしさに気づいたり、学校探検や昔遊びなどの体験を通して友達とのつながりを深めたりする活動に取り組んでいる。

〔児童の変容〕

- ・相手意識を常に持って、計画・準備をし、試行錯誤しながら試すことができるようになった。
- ・友達と協力することの大切さを知り、人が喜ぶと自分もうれしくなることを実感できた。

② 2 年生 西っ子たんけんプロジェクト 「西っ子 おもしろ 町たんけん」

地域の人々や場所・施設、自然とかかわる中で、自分たちの住む地域の良さや自分の成長に気づいたり、金沢の民話を知ることを通して、金沢の文化や生活に親しみをもちたりする活動に取り組んでいる。

〔児童の変容〕

- ・どんな公園があるか、どんな施設があるか話し合い、実際に訪れた。身近にある施設の良さや利用する楽しさを感じ、地域に対する理解を深め、1 年生に伝えることで、相手意識を持った発信をすることができた。

③ 3年生 地域発見プロジェクト 「人とともに みんなとともに」

地域の介護施設のお年寄りを訪問交流、地域に伝わる踊りの保存会の方から踊りを教わるなど、地域の人と関わりながら学習を進めている。

〔児童の変容〕

- ・校区のボランティア団体の人との交流やお年寄りとの交流を通して、自分たちができることについて考えることができた。
- ・保存会の人の話を聞き、地域の人たちと一緒に夏祭りに参加し、踊ることができた。

④ 4年生 地域環境プロジェクト 「西小校区の安全を守ろう」

西小校区で起こりうる災害について調べた。また、災害が起こった際の備えについて考え、意見交換をし、発表した。

〔児童の変容〕

- ・自然災害が身近に起こるかもしれないということを実感することができた。
- ・意見交換し、ゲストティーチャーの方たちからお話を聞くことで、4年生なりの防災意識を高めることができた。

⑤ 5年生 食でつながる西小プロジェクト 「つなげよう！わたしたちと世界」

地域の農家の方の協力での米作りや加賀野菜作りをした。テディベアプロジェクトで、台湾の文雅小学校とテーマを決め、互いの文化を伝え合う交流をした。台湾との交流をきっかけに、他の国へも興味が広がり、意欲的に調べ、パワーポイントでまとめ、4年生に発信した。

〔児童の変容〕

- ・米や加賀野菜を実際に育てたり調べたりしたこと、テディベアプロジェクトを通して興味を持った世界について調べたこと等を通して、金沢や日本の食について再発見したり多面的な見方をしたりすることができた。

⑥ 6年生 生き方向上プロジェクト

「金沢から発信しよう！天保義民から考えよう！」

自分が興味を持った金沢の伝統的・近代的な場所・もの・それを支える人々に各自が実際に取材を行い、生き方を学んだ。そしてそれらをヒントに自分の生き方について考えた。また、地元住民の誇りである「天保義民」の生き様を知るために、小説「天保の人々」を読破し、五箇山にも見学に行った。そして、その経験を活かし、劇で発信した。

〔児童の変容〕

- ・金沢の伝統的または近代的な場所で働く人たちの思いを知り、これからの生き方について考えを持つことができた。
- ・地域に残る歴史を学ぶことで、社会科で学ぶ歴史と重ねながら、西念の人々の生き方や思いを身近に感じ、地域をより大切にしようとする気持ちを持つことができた。



③介護施設でお年寄りと関わる



④液状化現象をモデルで説明してもらう



⑤文雅小学校と Skype で文化交



⑥金沢について調べたことを発表

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

いいね金沢（ウェブサイト） 世界の国々に関する本 災害に関する本
--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

活動は、主に総合的な学習の時間として、教育課程に位置付けている。総合的な学習の時間に加え、社会科など、他教科とのつながりも大切にしている。他教科との関連性がわかるように、どの単元が学習に関わりがあるのか書き出した ESD カレンダーを作成している。教育課程、ESD カレンダーは、毎年、年度の終わりに、その年の反省を受けて、見直しをしている。また、地域の人材を積極的に活用したり、体験的な活動を取り入れたりしながら指導にあたっている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

地域の協力してくれている団体、人とのつながりを大切にするため、地域の方の連絡先のリストを作成して、毎年見直し、次の年度に活用している。児童は、6年間を通して、一つのファイルに学習の記録を綴るポートフォリオを作成して、成果が継続的にわかるようにしている。また、職員室前に、全ての学年で、学年ごとに、活動の様子がわかるポスターを作り、学習内容を広めている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

一年を通して、各学年の活動を模造紙にまとめていき、廊下に掲示している。廊下に掲示することで、児童、保護者、地域の方々、職員がいつでも見て、どのような活動をしているのかわかるようになっている。学習内容は、お互いの学習発表を見合い、子どもたちの様子、地域の方との連携を含め、学習の流れがスムーズになるように、見直しをし、改善を図っている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

学年ごとに、年に一回以上、一年間で学んだことを発表したり、他者へ発信したりする機会を設けることにしている。発表するときは、お世話になった地域の方々も招待し、成果を発信している。発達段階に応じて、ポスターや新聞、パワーポイントなどを活用して、一つ下の学年に向けて発表している。一つ下の学年に伝えることで、来年度どのような学習をするのか、見通しを持たせることもできている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

各学年がテーマに合わせて、地域のコミュニティを積極的に活用している。例えば、地域ボランティア団体の活動を見学したり、デイサービスなどの福祉施設での体験を支援したりしてもらっている。そして、地元の大学の先生の支援をもとに、ティンベアプロジェクトに参加している。また、校区にある地方気象台の方から、防災についての指導していただいた。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

金沢市内の小学校、中学校のユネスコスクールで、各学校の代表が出席し、年に一度成果を発表している。発表するときは、模造紙一枚にまとめ、ワークショップ形式で、他の学校と交流している。参加した児童が作成した発表資料は、職員室前の廊下に掲示して、成果を全校に発信している。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

台湾の嘉義市、文雅小学校と毎年交流している。縦割り活動や、クラブ活動など、多くの児童が交流できるような時間を設けている。英語の授業で習ったことを活用しながら、積極的に関わっている。年に一度ではあるが、児童は、海外の小学生に抵抗なく、関わるできるようになってきており、交流の日を毎年楽しみにしている。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

昨年度のカリキュラム見直しを経て、今年度は、4 年生のテーマを変更した。防災をテーマに、専門家や防災士など、地域と連携した授業を展開することができた。地域の良さを充分生かしたカリキュラムとすることができた。引き続き、3 年生のカリキュラムも、地域の良さ、関わりをより生かしたカリキュラムにすべく、見直ししていきたい。